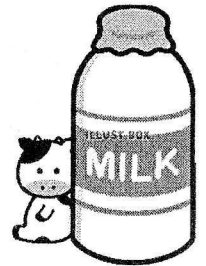


生産者交流会 参加者募集

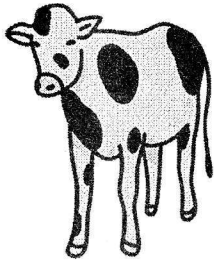
生産者の話を聞こう！
酪農の危機は今？

三村牧場 三村さん 新生酪農安曇野工場 塚田さん

日時: 1月20日(土) 生活クラブ長野 伊那センター
10時30分～ 生産者交流会 12時閉会



9時30分～全体班長会があります。どなたでも参加できます。



参加申し込みは伊那センター(☎98-9822)またはQRコード

託児受付締め切り : 1月12日(金)



窮状が続く酪農家の現状 ～2023年3月 生活クラブ連合会プレスリリースより抜粋～

気候危機や国際情勢の影響によって高騰する飼料費や燃料費、それだけでなく、乳牛から生まれた雄の子牛の販売価格の暴落、コロナ禍での行動制限によって、業務用を中心に牛乳の需要が減ったことも酪農家の経営を悪化させる要因につながりました。多くの酪農家が過去最大の存続の危機に直面しています。

南信酪農業協同組合(長野県) 代表理事組合長 三村 誠一 氏

飼料などの値上がりが重なったこの状況は40年にわたって酪農を続けてきてはじめてのことです。もともと酪農は、生産から収入につながるまで時間がかかります。乳牛は生まれてから搾乳できるまで約2年かけて育てます。私の牧場では飼料用の作物をつくっていますが、収穫したら発酵させてから牛にあたえるため、1年がかりです。もし酪農を辞めてしまえば、再び生乳を搾れるようになるまで長い時間がかかるため、私たち酪農家は、これまでの蓄えを切り崩しながら生産を続けています。かつてないほど厳しい状況をなんとか乗り越え、次の世代へ生産をつなぐことが、私の使命だと思っています。